



トピックス



福祉部会では、今年も外出支援を重点的に取り組んでまいります。
 外出に不自由を感じている方が増加しており 月、水、金の週三日、送迎車が動かない日がない程利用者が増加しています。高齢化社会で利用者は今以上に増えることは間違いのない事実です。我々も工夫しながら一人でも多くの方に利用していただけるよう努力しております。この取り組みをより円滑に進めていくためにも受付ボランティア、運転ボランティアの皆様のご参加がより必要です。
 「参加してやろう」という方は月・水・金の9時から12時の間に「080-1500-1100」までお電話ください。多数参加いただいて、一人でも多くの外出に不自由を感じている方のお役に立ちたいと思います。

福祉部会 部会長 西田 實

まちづくり協議会の目的は、地域活動を通じて住民相互の交流を促進するとともに連帯感のあるコミュニティづくりを推進することにあります。

総務部会としては、次の三点を目標に取り組んでいます。

- ①タイムリーな情報の発信を行い情報の共有化をはかる。
- ②各部会や団体がそれぞれの目的に沿って活動できるよう支援を行う。
- ③地域人材を発掘し、多くの住民がまちづくりに参画してもらう。

具体的には、「西谷コミュニティだより」の充実（年4回の発行）、HPへの各種イベント情報などの掲載。役員会や各部会間での意見交換を通じての連携強化。公共交通問題をはじめ、地域課題の解決に向け取り組み、西谷の未来づくりにつながるよう取り組んでいきます。

総務部会 部会長 塗家 昭彦



西谷の人口は今・・・平成29年1月末現在

	宝塚市	西谷
人口	234,233人	2,566人
65歳以上	62,377人	1,068人
高齢化率	26.63%	41.62%

こんなに高い高齢化率！！

こんなに少ない！！
 小学校児童 91名
 中学校生徒 47名



「第2回防災の集い」
 を平成29年3月5日(日)
 10時から宝塚市指定
 避難所「西谷小学校」
 で開催しました。



(心肺蘇生訓練)



お知らせ

西谷地区まちづくり協議会 平成29年度 通常総会
 日 時 平成29年5月20日(土)午後1:30~
 場 所 西谷ふれあい夢プラザ

西谷コミュニティだより 第66号 平成29年3月19日発行

発行：西谷地区まちづくり協議会 編集：総務部会 発行部数：1000部 ※掲載写真、記事の無断複製及び転用は禁止
 します。紙面に関するお問い合わせは西谷地区まちづくり協議会事務局 電話 0797-91-1788 までお願いいたします。
<http://www.hnpo.com.sapo.net/porta/takarazuka/portal/index>

西谷コミュニティだより

第66号 平成29年3月19日発行 西谷コミュニティ(西谷地区まちづくり協議会)編集 総務部会

☆ 全国大会で活躍する西谷の星 ☆

岡本 蒼 君 大原野在住 西谷で生まれ育った子どもが夢の甲子園へ！！
 (高校2年生) 3月19日から開幕する春の選抜高校野球大会に西谷幼稚園、西谷小学校

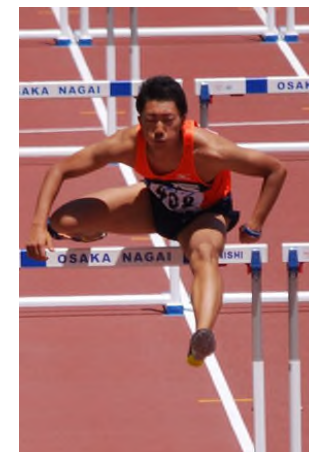


を卒業した岡本蒼君が報徳学園高等学校硬式野球部主将として甲子園に出場することが決まりました。小学校時代は少年野球チーム「西谷ラビッツ」でキャプテンとして活躍し県大会へ出場。子どもの頃から人一倍練習熱心で努力家でした。「ラビッツ時代から、とにかく走り、素振りをし、厳しい練習でした。今は当たり前だけど、小学校からあれだけの練習をさせてもらった事や共に頑張る仲間がいて、今の自分があると感謝しています。」と岡本君は話しています。報徳学園中等部へ進み、高校1年生の秋からベンチ入りした去年はあと一步のところまで甲子園へは行けませんでした。新チームとなり主将としてチームを引っ張り、見事に夢の舞台へ！ 甲子園での活躍を期待しています。

少年野球チーム ラビッツ 世話人 安場 洋美

小林 隼 君 (大学2年生) 大原野在住

陸上競技、110mハードルをしています。今年の目標は全日本学生選手権大会に出場し、決勝の舞台で走ることです。
 現在は地元を離れ京都で活動していますが、兵庫県で開催される試合にも毎年出場しています。その時には必ず帰省するようにして西谷は自然がたくさんあり、空気がおいしく、星がたくさん見えて素敵なところだと、地元を離れてよりいっそう感じます。
 地元の皆さんに良い報告ができるように頑張ります！
 <主な成績> 兵庫選手権大会3位、関西種目別選手権大会4位



「路線バスに乗ろう」

西谷公共交通会議では地域の公共交通を守る取り組みの一つとして、看板「路線バスに乗ろう」を①西谷ふれあい夢プラザ前バス停横、②JR武田尾駅の2ヶ所に設置しました。

①



②



西谷自治会連合会：西谷地区まちづくり協議会
 阪急田園バス(株)：宝塚市

—将来を見越したまちづくりを—

西谷地区まちづくり協議会執行役員として、西谷農会連合会として参加させていただいております。その中で、西谷地域の各団体の皆様、また地域を想う方々が西谷の活性化、そして将来を考えておられることが良く分かります。



ここ宝塚北部西谷地域では、自然豊かな環境の中で農業、商業が営まれています。古来より稲作中心であった農業も減反政策により、野菜生産農家が増え、新規に農業に取り組む青年農業者の誕生も頼もしくあり、反面担い手不足による耕作放棄田も目立ち始めています。また、少子高齢化に伴う人口減少が危惧されるところでもあります。

私は、西谷地域ふれあいの会会員として、学校前交差点で子ども達の見守り活動を行うことがあります。人数が少なくなっても子ども達は元気です。気持ちよく朝の挨拶を交わしてくれます。次代を担う子ども達のためにも、知恵を出し合い10年先、20年先を見越したまちづくり案が検討されています。

差し迫る新名神高速道路の開通に伴うスマートインターチェンジ、サービスエリアを活かした西谷の将来を、地域の皆様と共に考え、作り上げましょう。副会長 南 豊 (西谷農会連合会会長)



(波豆水源池)



(ごろく山里)



(武田尾)



西部波豆川堤防)



西谷夢プラザ)



長谷八重桜)

西谷の自慢の桜たち

各団体の取り組みと代表者紹介

宝塚市消防団は、消防団長以下200名で構成しています。団本部と11分団には、充実した消防車と資機材が配置され、有事に備えています。年間を通じて、消防ポンプ取扱い訓練をはじめポンプ操法、実戦訓練、水防訓練、救命講習等には特に力を注いでいます。

今後も訓練や研修を積み重ね、常備消防はもとより自治会等とも更に連携を図り、安全安心なまちづくりに貢献して参ります。宝塚市消防団 団長 福井 仁



宝塚桜消会は、平成7年の大災害の後、宝塚消防団の後方支援及び協力並びに地域の発展に寄与し会員相互の親睦を図る事を目的に、平成9年5月に設立し20年になりました。現在、正会員57名、特別会員8名、賛助会員10名、合計75名です。5月に総会と年4回理事会、及び緊急な場合は臨時役員会で対応しています。西谷にも時代の流れが実感され、学卒後、西谷から出て働く方が多くなり、西谷地区で発生する災害に対応する消防団員が減少しています。安心して活動できる様に保険に加入し、火災や水害の支援にあたっています。西谷地区の皆様が安心して住める様、消防団と共に頑張る団体になる様に努力致します。



桜消会 会長 中村 清

「確かな学力 豊かな心 健やかな身体 をバランスよく備え、逞しく生きる生徒の育成」を目標に、地域・保護者の皆様にご支援いただき職員一同頑張っています。また、「自分で聞いて自分で考えて 自分で動く子ども」を共通の目指す子ども像に据え、園小中の連携のもと、3才で入園した子どもが中学校卒業するまでの12年間の育ちを見守っています。昨年の秋には、第10回西谷ふれあい大運動会を地域の方々の大きな声援のもとで実施することができました。来年度以降もふれあい大運動会が地域の皆様の行事として続いていくことを願っています。中学校HPでは日々の学校生活について紹介していますのでぜひご覧下さい。



西谷中学校 校長 九里康男

西谷認定こども園になり8年が過ぎようとしています。年齢によって人数のばらつきはありますが、0歳児~5歳児合わせて48人が在籍しています。園生活においては、できる限り多くの体験や同じクラスの友達だけでなく異年齢や異校種、他の地域の友達とのかかわりの中で、「嬉しい」「楽しい」「悔しい」等様々な感情を味わえるよう工夫しています。また、春はつくしやタンポポを摘み、夏はカエルを追いかけ、秋はドングリ等の木の実を拾い、冬は太い霜柱や氷を見つける等、子どもたちと職員も西谷の豊かな自然を満喫しています。

西谷認定こども園 園長 菌 充子

昨年9月、大原野駐在所に配属となりました吉本一行です。西谷地区は自然が美しくとても環境の良い場所だと感じています。住民の方にとって身近で存在感のある駐在となれるように頑張りますので、よろしくお願いいたします。



大原野駐在所 吉本 一行

全校生91名、8学級でスタート「西谷大家族、ここに元気な西谷っ子!!」学校教育目標【ふるさとに学び、確かな学力を身につけた心豊かで健やかな子どもの育成~「人権尊重の精神」と「園小中の連携」を基盤として~】のもと、地域・保護者の皆様にはご支援を頂きながら、地域に開かれた信頼される学校づくりに取り組みを進めているところです。子どもたちがやる気に満ちた顔で登校し、満足感をもって下校していくそのような毎日であり、さらに、ふるさとである西谷や学校を誇れる子どもに成長していきますよう教職員一同、力を合わせ頑張っております。今後ともご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。



西谷小学校 校長 池田 一彦

西谷認定こども園になり8年が過ぎようとしています。年齢によって人数のばらつきはありますが、0歳児~5歳児合わせて48人が在籍しています。園生活においては、できる限り多くの体験や同じクラスの友達だけでなく異年齢や異校種、他の地域の友達とのかかわりの中で、「嬉しい」「楽しい」「悔しい」等様々な感情を味わ